

平成22年度全国学力・学習状況調査、平成23年度奈良県学習
状況調査の結果から明らかになった課題

- ① 表現の仕方に注意して読み、内容について理解すること。
- ② 日常的な事象について、筋道を立てて考え、数学的に表現すること。
- ③ 学習は大切だと思っている児童生徒の割合に比べて、学習が好きだと思っている児童生徒の割合が低い。
- ④ 学校のきまりを守っている児童生徒の割合が低いなど、規範意識に課題がある。
- ⑤ 全国学力・学習状況調査の調査結果が、学校の取組に十分に生かされていない。

改善に向けて

◎知識や情報を活用して、問題解決を図る活動を組み立て ましょう。

- ・児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問を行い、自分の考えを発表する機会を与える。
- ・授業の内容と関連させて、調べさせたり、発展的に考えさせたりするために家庭学習の課題を与える。

◎学習に対する意欲を高める手立てを工夫しましょう。

- ・授業で学習した漢字や計算方法などを実際の生活で使うなど、学習内容を普通の生活に活用できないか考えさせる。
- ・補足的な指導や発展的な指導など指導方法の工夫をする。

◎きまりやルールに対する意識を高めましょう。

- ・職場体験活動やボランティア活動等の体験活動を通して、規範意識や社会性の向上を図る。
- ・基本的な生活習慣を身に付けさせるよう家庭に働きかける。

◎学校全体で取り組むシステムをつくりましょう。

- ・模擬授業や事例研究など、実践的な研修を積極的に行う体制を整える。
- ・学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取り組む。

◎学校・家庭・地域が連携するシステムをつくりましょう。

- ・学校の教育活動について、学校通信やホームページ等で積極的に情報提供を行う。
- ・地域の人が自由に授業参観ができる学校公開日を設ける。

◎調査問題や調査結果を授業改善、指導改善に生かしましょう。

- ・学校の指導計画や取組を検討するに当たり、全国学力・学習状況調査と奈良県学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にする。
- ・全国学力・学習状況調査と奈良県学習状況調査の調査問題や調査結果を調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用する。

※ 各項目に2つずつ示したものは、課題解決のための参考例です。